

当社グループの温室効果ガス(GHG)排出量 削減目標が SBT 認定を取得

このたび、当社グループが設定する 2030 年度までの温室効果ガス (GHG) 排出量削減目標について、「パリ協定^{*1}」の目指す、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べ 1.5℃の軌道に沿った科学的な根拠に基づいた目標であるとして、SBTi「Science Based Targets initiative」より科学に基づく短期目標として認定を取得しましたのでお知らせいたします。

<https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action/>



*1 2015 年にパリで開催された「国連気候変動枠組条約締約国会議 (COP21)」で採択された、温室効果ガス排出削減に関する多国間協定。



SBT イニシアチブとは、企業が科学的根拠に基づいた温室効果ガス (GHG) 排出削減目標を設定することを支援・認定する国際的なイニシアチブで、このイニシアチブは、WWF、CDP、世界資源研究所 (WRI)、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアチブであり、世界の平均気温の上昇を 1.5 度に抑えるという目標の達成に向けて、企業は果たすべき役割の明確化・温室効果ガスの削減スケジュールを科学的知見と整合した目標 (Science based target) 設定します。現在世界中で 2022 年末までに、約 2,000 社の企業が SBTi 認定を取得しています。

■ SBT に認証された当社グループの温室効果ガス (GHG) 削減目標

Scope1・2	2019 年を基準として 2030 年までに 80.04%削減
Scope2	再生可能エネルギーの年間調達量を 2019 年の 0.2%から 2030 年までに 100%
Scope3	2019 年を基準として 2030 年までに 27.5%削減

スコープ 1：企業自体が直接排出する温室効果ガス (GHG) 排出量

スコープ 2：企業が消費する電力や熱などを他社から供給されている場合の、間接的な排出量

スコープ 3：企業活動に関連するその他の間接的な排出量で、Scope1・2 以外で該当する温室効果ガス (GHG) 排出量

なお、サンデングループは 2039 年に Scope1・2・3 においてカーボンニュートラル達成を目標に掲げております。

当社グループは、工場エネルギーの温室効果ガス (GHG) 削減に向け、水素等のカーボンニュートラルエネルギーへの燃料転換・再生可能エネルギーへの導入検討や、エネルギー循環等の省エネルギー活動を進めるとともに、リサイクル原材料の使用、及び当社主力製品の ITMS・電動コンプレッサの販売量拡大を通じて、サプライチェーン全体の温室効果ガス (GHG) 削減に貢献します。

【ご参考】サンデングループの温室効果ガス(GHG) 排出削減目標が SBTi「Science Based Target initiative」の認定を取得」の認定を取得

<https://www.sanden.co.jp/environment/special/sbt.html>

以上

本件に対するお問い合わせ
サンデン株式会社
総務本部 グローバル総務セクション（広報）
sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com
